（第2号様式）

向陽 第 2922 号
令和5年 3月20日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立向陽高等学校
校長　宮城 竜幸
（公印省略）

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について（報告）

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年8月30日	場所	本校 視聴覚室	出席状況	校長、教頭、事務長、主任4名 学校評議員4名
第2回	日時	令和4年12月23日	場所	本校 視聴覚室	出席状況	校長、教頭、事務長、主任4名 学校評議員5名
第3回	日時	令和5年3月17日	場所	本校 視聴覚室	出席状況	校長、教頭、事務長、主任4名 学校評議員4名

2 学校評議員に求めた事項

・進路指導及び生徒指導（生徒相談）の充実について
・学校及びPTA活動等の活性化及び地域への情報発信について
・学校のこれまでの（学校行事を含めた）取り組み等を踏まえた、今後の取り組みの改善に関する意見について
・学校評価（生徒・保護者・教職員等）に対する意見について

3 学校評議員の意見

〇地域行事への参加や地域住民との交流（小中学生）を行うなど、地域との関わりを多くもってほしい。
〇これまでの進路実績は早朝講座や課外講座、夏期必修講座等によるところが大きいと思う、今後も進路実績を維持するために、先生方の講座等の協力をお願いしたい。
〇生徒の自主性をもっと伸ばすためにも、校則変更や生徒の自主性を尊重した教育活動を多く取り入れって欲しい。
〇ここ2，3年はコロナ禍の影響で国際交流や留学等が以前より少なくなっている。次年度以降は国際交流をもっと増やしてほしい。

4 学校運営に反映した事項

・学校ホームページ、Classiを活用し生徒・保護者への積極的な情報発信を行った。
・コロナ禍の中、コロナ禍以前の学校行事等を実施した。
・地域の保育園との交流、地域海岸の清掃活動、地域の海岸地層の観察など地域との交流や地域資源の活用を行った。

5 課題その他

・本校教育目標に関する取組
・主体的に学習できる生徒（自走できる生徒）を育成する。（自学自主や家庭学習の習慣化を図る）
・国際交流をはじめ外部人材との交流を活性化する。
・SSH関連の取り組みの更なる強化
・図書館の利活用を促進